

# 埼玉産業保健総合支援センター利用事業場における 高年齢労働者(60歳以上)に配慮した取組状況について

《埼玉産業保健総合支援センターで実施したアンケート調査結果から》

埼玉産業保健総合支援センター  
運営主幹 松本 雅彦

## アンケート実施概要

**目的:** 埼玉産業保健総合支援センター利用事業場における高年齢労働者に配慮した取組状況を把握する。

**実施期間:** 9月下旬～10月中旬

**対象者:** 埼玉産業保健総合支援センター メルマガ登録者1,817名

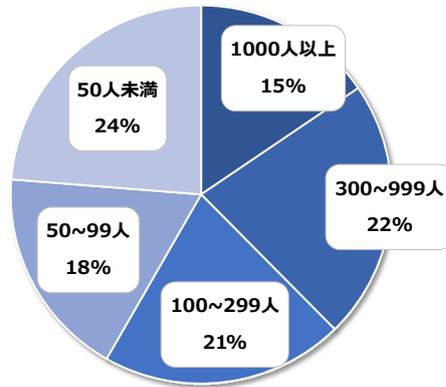
**職種内訳:** 産業看護職379名、衛生管理者318名、人事労務担当者338名  
事業主104名、安全衛生担当者29名、その他649名

**実施方法:** Google Formアンケート

**回収率:** 194名 (10.7%)

## 事業場規模（労働者数）

回答者が所属する事業場について

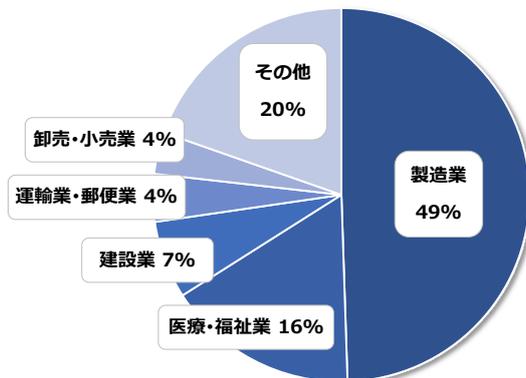


n = 194

1000人以上	30
300~999人	43
100~299人	40
50~99人	35
50人未満	46

## 事業場業種

回答者が所属する事業場について

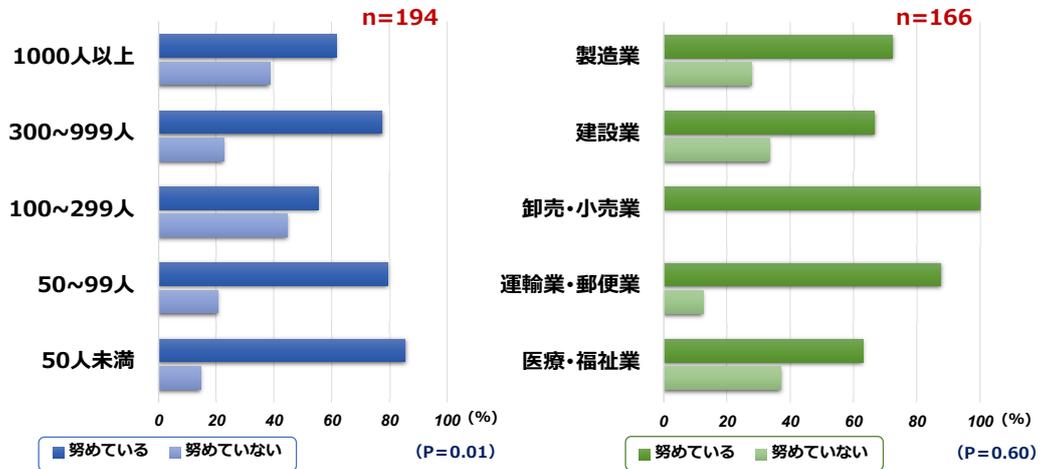


n = 166

製造業	96
医療・福祉業	32
建設業	13
運輸業・郵便業	8
卸売・小売業	7

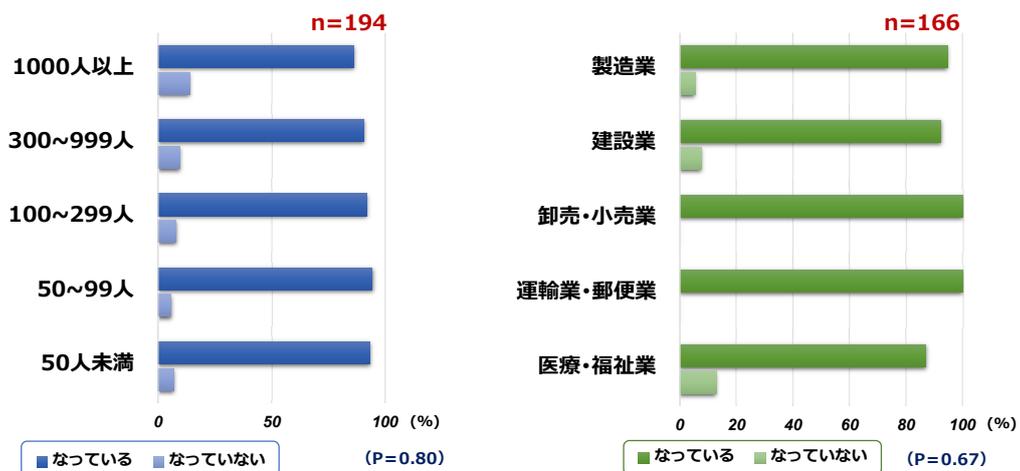
## 働きがいへの配慮

高齢労働者が働きやすい雰囲気づくりに努めているか



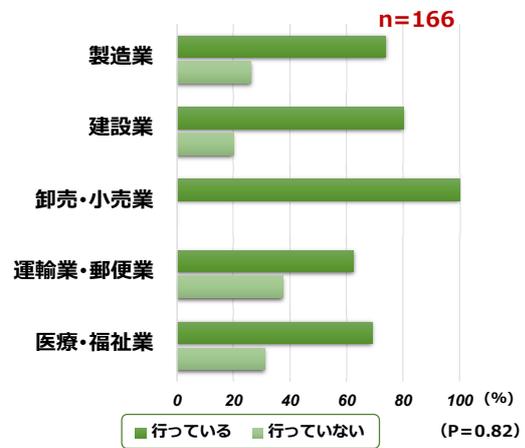
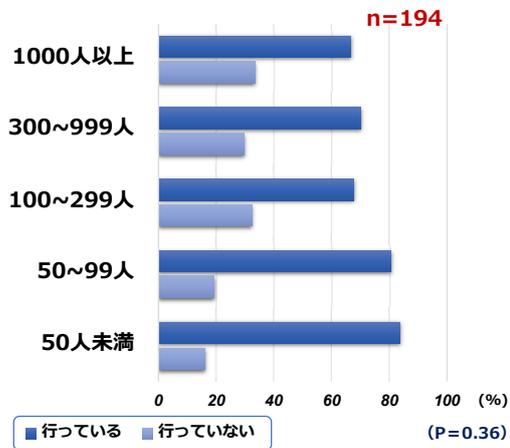
## 労働条件への配慮

高齢労働者が有給休暇を取りやすくなっているか



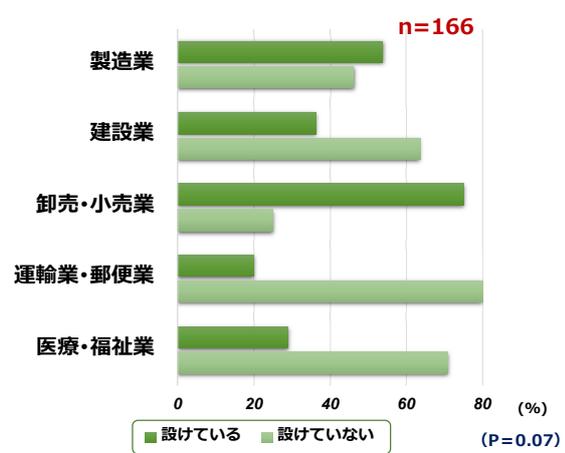
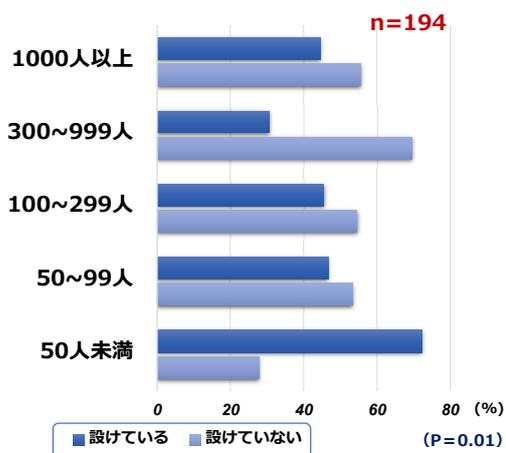
## 作業者への配慮

高年齢労働者個人の特徴を把握した上で、作業内容や強度、作業時間などの調整を行っているか



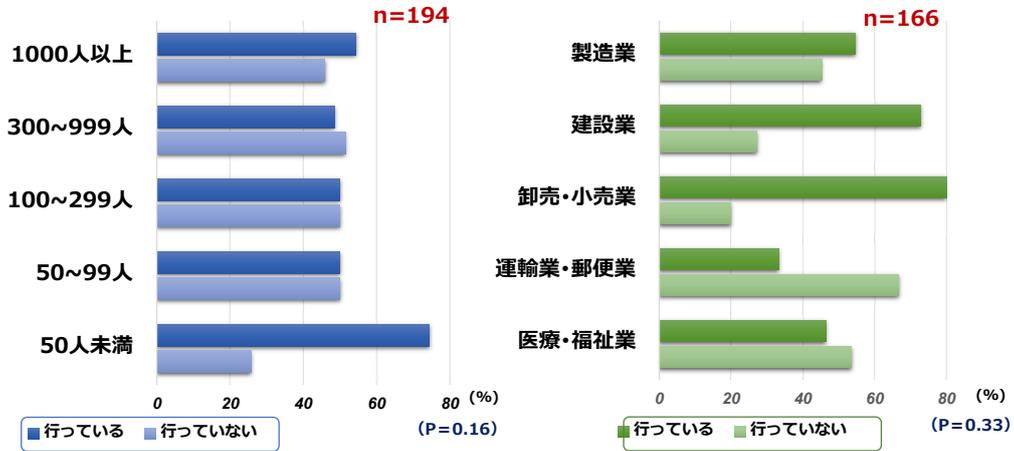
## 作業者への配慮

高年齢労働者との意見交換の機会を積極的に設けているか



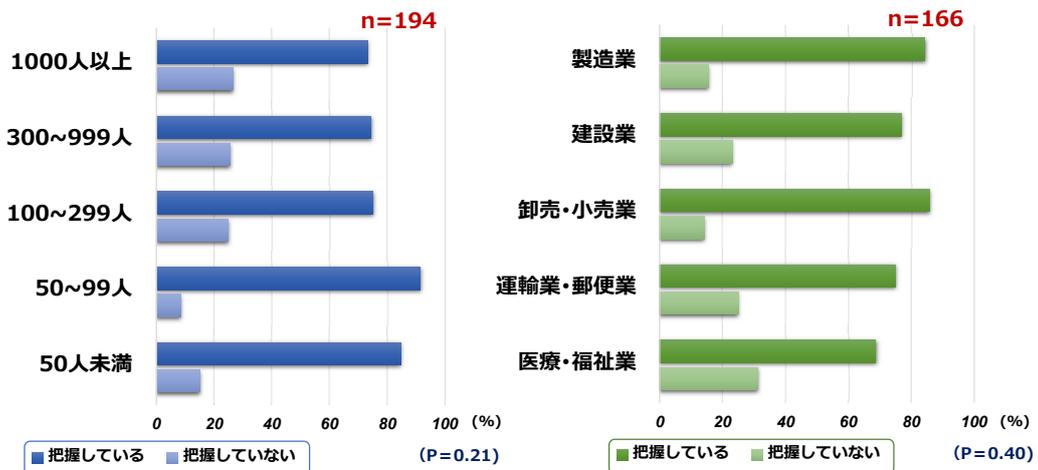
## 作業負担軽減への配慮

高齢労働者が自主的に作業のペースや量をコントロールできるようにしているか



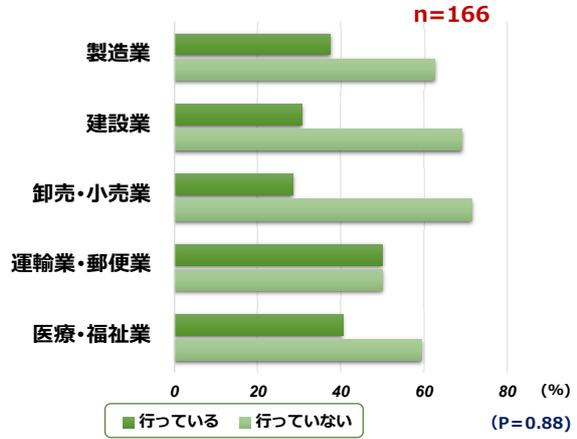
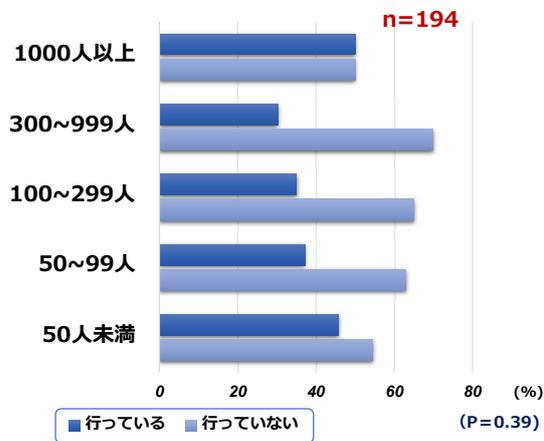
## 安全面への配慮

高齢労働者にとって危険な場所や作業を把握しているか



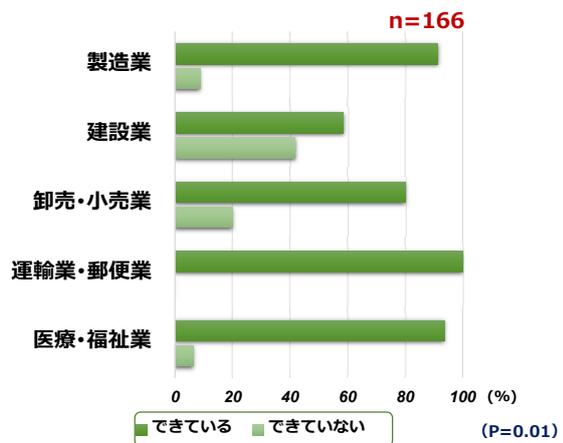
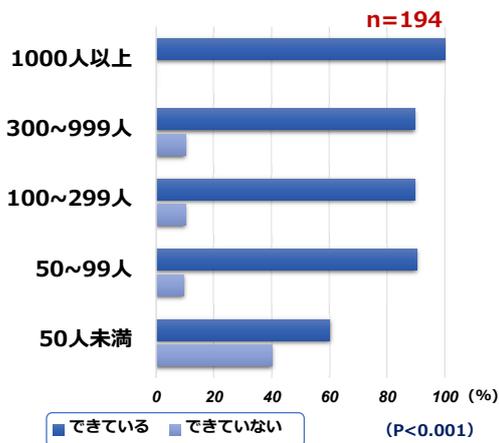
## 健康面への配慮

高齢労働者の健康保持増進のための運動や栄養、休養等に関するアドバイス等を行っているか



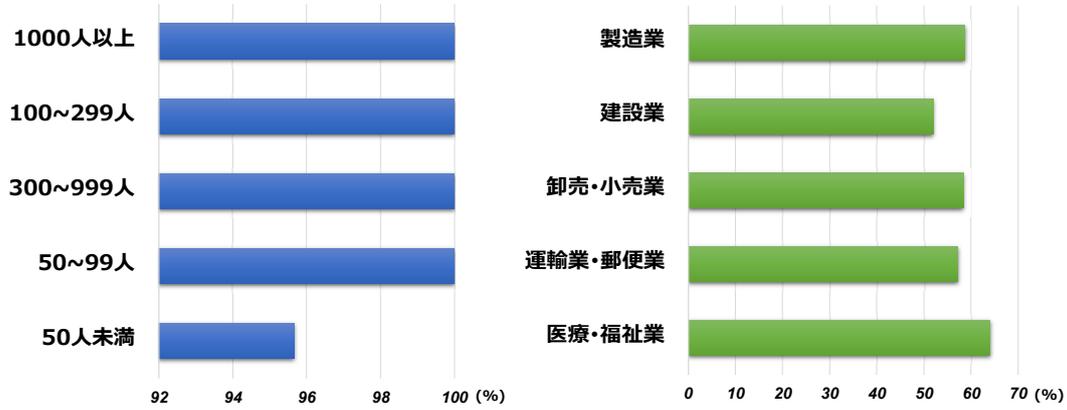
## 健康面への配慮

高齢労働者が職場で脳・心臓疾患を発症した際の緊急対応 (AED設置等) はできているか



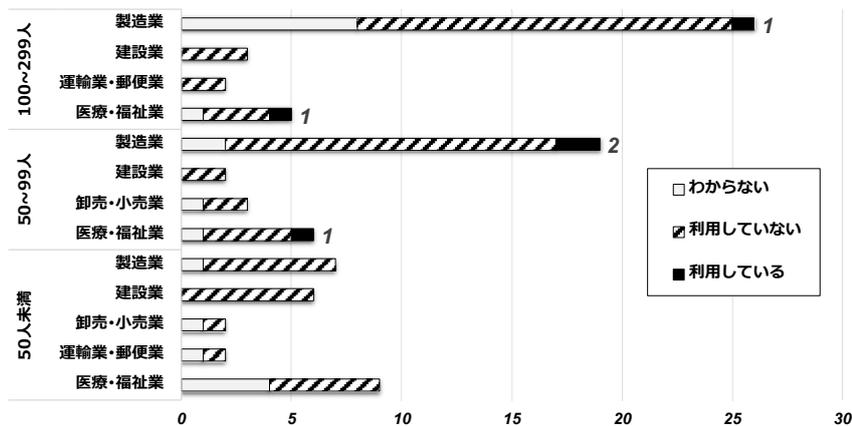
## 健康面への配慮

職場で新型コロナウイルス感染症の予防対策を行っているか（割合）



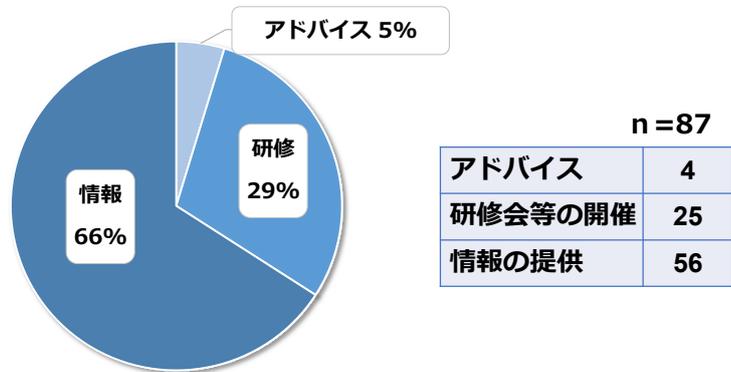
## 補助制度への理解

高齢労働者を雇用する中小企業事業者への支援として、厚生労働省が実施している補助制度（エイジフレンドリー補助金）を利用しているか



## 支援の要望

高齢労働者に配慮した職場改善等について埼玉産業保健総合支援センターに望むこと



## まとめ・結語

それぞれの事業場において、概ね高齢労働者への配慮がなされていた。また、少数であるが「現在検討中」が「今後検討」を大きく上回っていた。一方で、高齢労働者との意見交換の機会や健康保持増進に関するアドバイス等については、まったく配慮していない事業場があり、高齢労働者とのコミュニケーション不足による高齢労働者の孤立化が心配された。さらに、高齢労働者を雇用する中小企業事業者への支援補助制度の利用状況では、ほとんどの事業場で利用されていなかった。

このような事業場に対しては、埼玉産業保健総合支援センターのサポートが重要であるとともに、今回のアンケートで得られた支援内容を参考にして、高齢労働者が安心して安全に働ける職場づくりの活用並びに周知の必要性が考えられた。